



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

新型コロナウイルスの感染防止のため、  
5月10日の観察会は中止しました。

## フィールドの状況紹介

3月と4月の観察会は中止にしたものの、知らずに参加する人がいてはまずいので、集合場所で待っていましたが、今回は休園で駐車場に向かう通路が閉鎖（ロックアウト）されたので当日は出かけませんでした。

それでも、フィールドの状況は気になるので、12日の朝6:30に見てきました。138タワーパークは休園中では入れませんが、大野極楽寺公園は駐車場が閉鎖でも中は歩くことができました。

新型コロナウイルスの影響で人の活動は制限されていても、自然はそんなことには関りなく、季節とともに変化しています。

人が少ない分だけ安心できるのか、ウグイス、キビタキ、センダイムシクイ、オオヨシキリなどの鳴き声が間近に聞こえています。

堤防道路の法面は草刈り中でしたが、昨年は大幅に減った外来種のヒサウチソウがまた復活しつつあり、ヤセウツボも増えているようです。

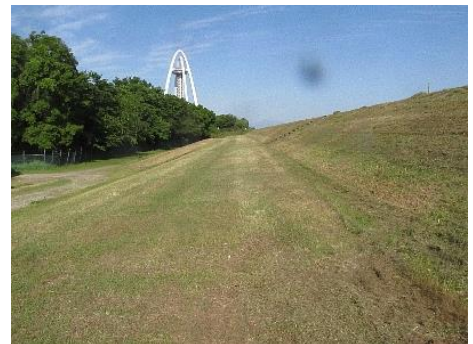
先月まで咲いていたミヤマウグイスカグラは赤い実をつけていました。実の表面にも腺毛が生えていて、ヤマウグイスカグラとの違いが分かります。

いつもと違うコースを歩いたら、手が届く位置でハクウンボクの花を見ることができました。

新型コロナウイルスの感染が終息し、5月で緊急事態宣言が解除されて、来月から観察会が再開できることを期待しています。（報告：齋竹）



(138タワーパークはロックアウト)



(草刈が終わった堤防法面)

### <その他5月12日に観察できたもの>

鳥：ツバメ、キジバト、ヒヨドリ、コゲラ、シジュウカラ、メジロ、シメ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、キジ（声）、コジュケイ（声）、ハシブトガラス、ハシボソガラス

虫：ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、キタキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、サトキマダラヒカゲ、ヒメウラナミジャノメ、ダイミョウセセリ、コチャバネセセリ、ヤマトシリアゲ、ジョウカイボン、ナナホシテントウ、シオカラトンボ、ホソミイトトンボ、クマバチ、クロマルハナバチ、セイヨウミツバチ

花：ニホンタンポポ、セヨウタンポポ、コウソリナ、フタナ、ヒメフタナ、ノゲシ、オニタビラコ、オオキンケイギク、ニガナ、ハルジオン、ヒメジョオン、ノアザミ、ナワシロイチゴ、ヘビイチゴ、ノイバラ、コデマリ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、コメツブウマゴヤシ、オオイヌノフグリ、オオカワヂシャ、ムラサキサギゴケ、マツバウンラン、ノミノツツリ、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ、シロバナマンテマ、イヌコモチナデシコ、コマツヨイグサ、ユウゲショウ、オオニワゼキショウ、ヤブジラミ、ヒメウス、ヘラオオバコ、ツボミオオバコ、アメリカフウロ



ヒサウチソウ  
堤防に復活中



ヤセウツボ  
増えつつある外来植物



ミヤマウグイスカグラの実  
表面に腺毛が



ハクウンボク  
こんな所で見られるとは